ＣＲＣ 逆算器について

【 用途 】

CRC の値を指定すると、その CRC 結果になるデータを求めてくれるソフトです。
CRC とは、シリアル通信の誤りチェックなどに用いられている計算方法です。
データ長、可変データの範囲、固定データ部などの設定ができます。
用途としては、通信処理の CRC 部の評価時などに、特定の CRC になるデータを知りたい場合に用います。

【 用法 】

１．CRC Back Calc.exe を起動します。

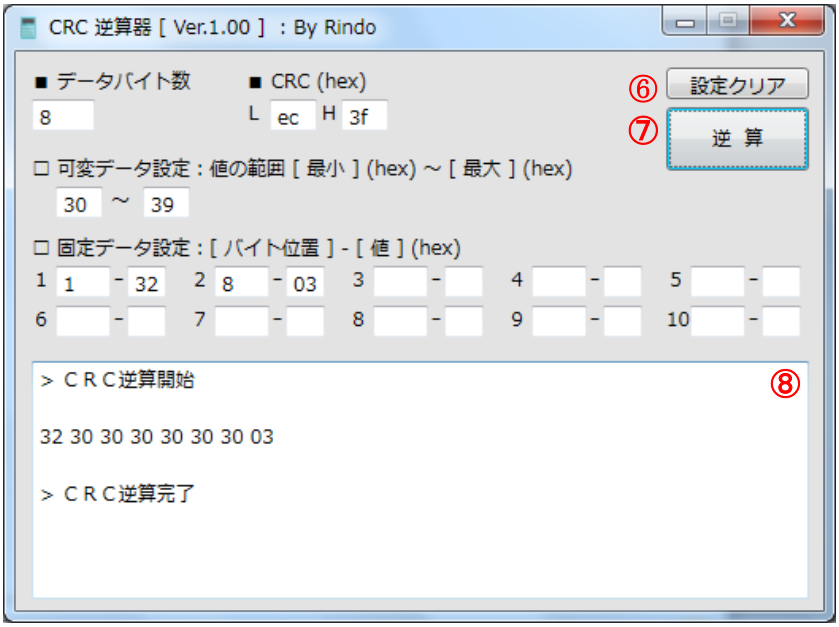
２．各種設定をします。

No.	項 目	進 数	範 囲	説 明
①	データバイト数	10 進数	1 ～ 100	CRC 演算するデータ数
②	ＣＲＣ－L／H	16 進数	0 ～ ff	CRC の値
③	可変データ設定－最小／最大	16 進数	0 ～ ff	可変データ部の値の範囲
④	固定データ設定－バイト位置	10 進数	1 ～ 100	省略可。１０組まで設定可。
⑤	固定データ設定－値	16 進数	0 ～ ff	

３．「 逆算 」ボタンを押すと、結果が表示されます。

入力例 ）

通信データ：02 32 ** ** ** ** ** ** 03 [ec][3f] （ **は可変部で範囲は 30～39h， [ ]内は CRC ）。CRC 演算範囲は全データとは限りません。ここの例では２バイト目からとします。すると、CRC 演算範囲は ’32’から’03’までとなり、データバイト数は８バイトとなります。



No.	項 目	説 明
⑥	設定クリア	設定内容を初期状態に戻します。
⑦	逆算	逆算を開始します。
⑧	結果／メッセージ 表示部	逆算結果や設定エラーなどを表示します。 設定エラーが表示された場合は、メッセージに従って設定を修正してください。

・連絡先 ： rindo3639@gmail.com （作者名 Rindo）
・取り扱い種別 ： フリーソフト
・動作環境 ： Windows ７ ／ ８
・インストール方法 ： zip ファイルを任意のフォルダに展開してください。
・アンインストール方法 ： 展開したファイルを削除してください。

― 以上 ―